塗る・切る・磨くで世界を変える



2023年3月期 第3四半期決算説明資料

Mipox株式会社(マイポックス) 証券コード 5381

目次



01 業績概要 ------ 2023年3月期 第3四半期

02 業績見通し ----- 2023年3月期 通期

03 その他トピックス ------ 2023年3月期第3四半期

O4 Appendix ----- 会社概要

業績概要2023年3月期第3四半期



2023年3月期 第3四半期 業績サマリー 第3四半期からの電子デバイスの在庫調整やデータセンター投資抑制等の外部環境の 影響により、ハイテク関連製品や受託事業が低迷し、利益が減少。

**売上高**(Q3:4月-12月期累計)

7,753 (百万円)

前年同期比較(Q3累計) 108(百万円)減

経常利益 (Q3:4月-12月期累計)

488 (百万円)

前年同期比較(Q3累計) 873(百万円)減 営業利益(Q3:4月-12月期累計)

249(百万円)

前年同期比較(Q3累計) 1,105(百万円)減

\* 純利益 (Q3:4月-12月期累計)

186 (百万円)

前年同期比較(Q3累計) 915(百万円)減

\*親会社株主に帰属

### 【営業利益減要因】

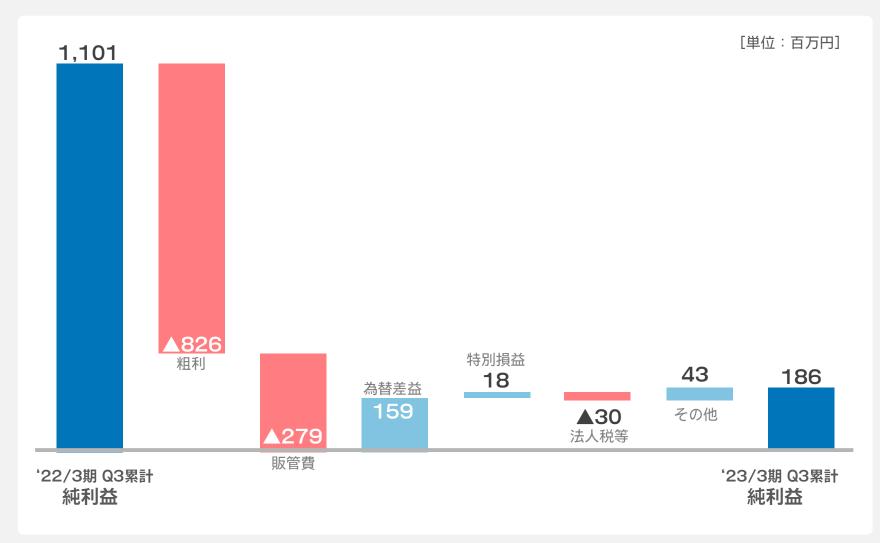
- 一般研磨製品は安定的であるが、ハイテク製品および受託事業が外部環境の影響により低迷。
- 売上構成の変化により、売上 高は微減なるも、利益率が低 下。
- 原材料、エネルギー、物流コストの高騰もあり、営業利益が減少。

#### 【経常利益減要因】

● 為替差益や受取賃貸料を計上。



外部環境の影響を受け、比較的高い利益率であるハイテク製品の売上および受託事業 売上が減少し、粗利が減少。原材料や物流コスト等の高騰も継続し減益。



2022年3月期 第3四半期 純利益 **1.101**(百万円)

△915(百万円)

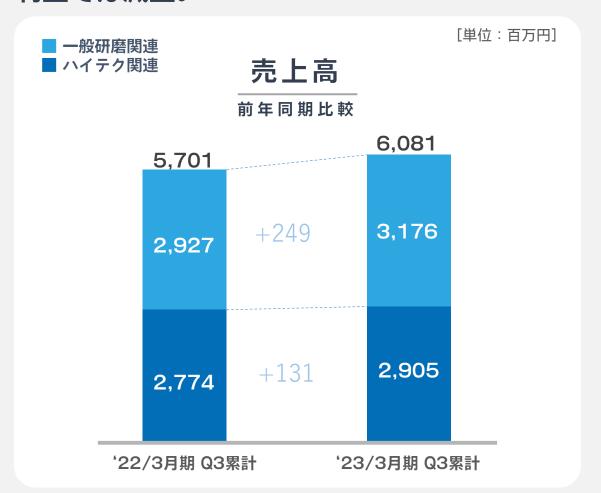
2023年3月期 第3四半期 純利益 **186**(百万円)

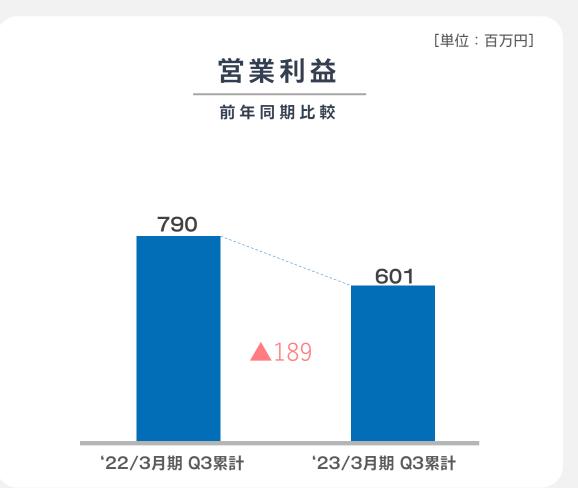
- データセンターへの投資抑制や PC・タブレット製品の需要減退に 伴う在庫調整の影響でハイテク製 品や受託事業を中心に減収・減益。
- 物流コストや人的費用の高騰、予定していた研究開発費等があり、 前年同期比で販管費増加。
- 通期では為替差益ポジションであるが、Q3では為替差損が発生。

※増減算出後百万未満切捨て



自動車や鉄鋼関連等の一般研磨関連は前年同期比水準で推移。一方、世界的なデータセンターへの投資抑制やPC・タブレット端末を中心とした電子デバイス関連市場が第3四半期から低迷。利益率が高いハードディスクや光ファイバー関連の売上高が減少。売上構成の変化によって営業利益では減益。

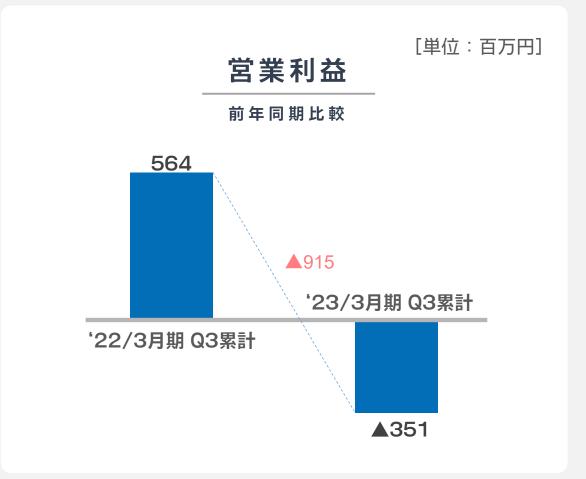






受託塗布・スリットは、PC・タブレット等の光学系フィルムを含む電子デバイス市場の低迷、 受託研磨加工は、受注元の製品終了による大口案件終了によって売上高が減少。固定費回収しき れず、営業損失を計上。





### 賃借対照表推移

[単位:百万円]	2022年3月末	2022年12月末	増減※
流動資産	10,611	8,871	<b>▲</b> 1,740
現金及び預金	2,394	2,718	324
前払金	2,755	-	<b>▲</b> 2,755
固定資産	3,994	7,001	3,006
有形固定資産	3,350	6,559	3,209
資産合計	14,606	15,872	1,266
流動負債	4,002	4,575	572
短期借入金(社債含む)	1,505	2,569	1,063
固定負債	2,512	3,178	665
長期借入金(社債含む)	2,215	3,044	828
負債合計	6,515	7,753	1,238
純資産合計	8,091	8,118	27
負債純資産合計	14,606	15,872	1,266
借入金合計	3,720	5,613	1,892

2023年3月期 第3四半期

総資産

15,872

純資産

8,118

自己資本比率

51.1%

# 業績見通し2023年3月期 通期



### 2023年3月期 通期連結業績予測については下方修正

- 第3四半期から顕著になったPC・タブレット製品等の電子デバイス市場の在庫調整や生産変更が継続しており、データセンター向け投資抑制も継続見込み。急激なマーケット縮小にて関連製品売上、受託事業への影響が2024年3月期の第2四半期から第3四半期頃まで続く見通し。
- 原材料費、人件費、エネルギー費用、物流コスト等の費用は物価高の影響もあり増加傾向。今期着地の営業利益、経常 利益、純利益は減少の見込み。
- 来期見込まれる電子デバイス関連需要増加に対応するため、新たに取得した鹿沼事業所の量産体制の構築を進める。また高付加価値な技術を活用した新規受託事業の獲得をもって来期以降の増収増益を目指す。

2023年3月期 通期連結業績	[単位:百万円] <b>'22/3期</b>				
	前回発表	今回	増 減 額	増 減 率	実績
売 上 高	10,000	9,500	<b>▲</b> 500	<b>▲</b> 5%	10,449
営 業 利 益	500	▲100	<b>▲</b> 600	▲120%	1,467
経 常 利 益	900	0	<b>▲</b> 900	▲100%	1,613
<b>純 利 益*</b> *親会社株主に帰属	700	0	<b>▲</b> 700	▲100%	1,550

当数字は2/13時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

予測為替レート: 135円

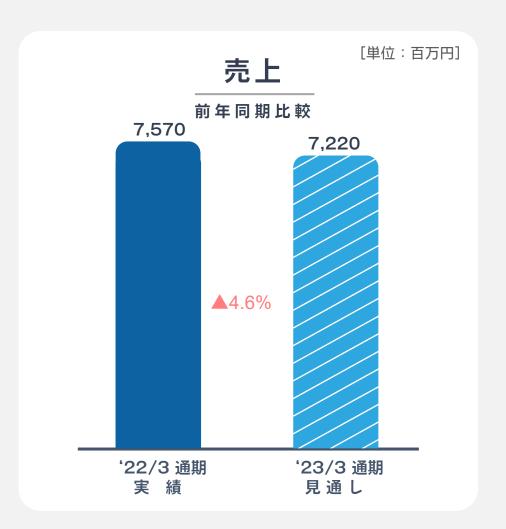


製品事業は利益率が高いハードディスク関連、光ファイバー関連を中心とした売上の減少が続く見込み。一般研磨関連にてセグメント売上を下支えする

### 製品事業

一般研磨関連/ハイテク関連

- 一般研磨関連の自動車や鉄鋼関連等は安定的に推移。
- ハイテク関連はハードディスク関連、光ファイバー関連製品が主であり、データセンター向け投資やPC・タブレット需要に影響を受ける。
- 中国でのコロナ影響に伴う生産量減少と世界的な需要減退により、ハイテク関連製品の売上高は第3四半期から減少傾向。 今期いっぱい状況は変わらず、減収減益で着地見込み。
- ハイテク関連は来期第2四半期から第3四半期頃の需要回復を 見込んでおり、生産リードとデリバリータイムの短縮、適正 在庫の見直しを進め、確実な受入れ態勢の構築を進める。





### 外部環境の影響を強く受け、受託事業は減収減益で着地する見通し

### 受託事業

受託研磨/受託塗布・スリット

- 受託塗布・スリットはPC・タブレット等の光学系フィルムを含む電子デバイス市場低迷の影響が強く、減収減益の見通し。
- 受託研磨加工は、受注元の製品終了に伴い大口受注が終了し、 減収減益。
- 来期第2四半期から第3四半期頃の電子デバイス市場の回復が 見込まれる。以下の実現をもって来期の業績回復を目指す。
  - 受託塗布・スリット鹿沼事業所の量産立ち上げによる受入れ態勢の強化と新規案件獲得。
  - 受託研磨加工

SiCやGaN等の高難度な次世代半導体材料加工の需要増による新規 案件獲得。

焼結体等の高加工難度材料の異種材料接合およびその前処理加工等 の高付加価値サービス提供。





### 免責事項及び将来の見通しに関する注意事項

当社および当社グループの各部門に関する業界の動向についての見直しを含む、国内および諸外国の経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした予測を前提としており、実際の業績等はこの資料に記載されている将来の見通しとは大きく異なる可能性があることをご留意ください

# 3 その他トピックス 2023年3月期第3四半期



### 鹿沼事業所(2022年4月1日取得)

### 受託研磨加工



稼働開始



RTO設置完了

# (稼働準備中) 塗布工程



2023年4月 稼働開始予定

スリット工程



北杜事業所から移管完了

ダイカット工程



タイ工場から移設完了

物流



自社トラック便運用

### オウンドメディア「研磨ラボ」





「GX (グリーントランスフォーメーション) リーグ基本構想」 に**賛**同



O 4 Appendix 会社概要



**会 社 名** Mipox(マイポックス)株式会社

英 **文** 名 Mipox Corporation

 mipox ■ RefLi+e
Color Your Style.

MISUMI

代表取締役社長

渡邉 淳 (Jun Watanabe)

本 店 〒409-1501 山梨県北杜市大泉町西井出8566(北杜事業所)

本 社 〒102-0083 東京都千代田区麹町5丁目3-23 日テレ四谷ビル10階

株式市場名 東京証券取引所 スタンダード

**証券コード** 5381

**従 業 員 数** 476名(2022年12月末日)連結



### 『塗る・切る・磨くで世界を変える』

我々は1925年の創業以来、メーカーとして培ってきた当社のコア技術である「塗る・切る・磨く」と共に発展してまいりました。 この「塗る・切る・磨く」を通して、世界の変化を支えることが我々が果たすべき役割であり存在意義であります。

### 経営方針

エンジニアリングアプローチによる製品事業の付加価値向上

受託事業からエンジニアリングサービス事業への転換

早い変化と多様性に対応できる経営基盤の整備



### 「塗る、切る、磨く、観る」を極めた技術力

創業から続く箔の製造技術を応用することで「塗る」「切る」「磨く」技術をコアにした事業を展開した企業であり、最近では、当社の研磨品質が"市場に検査できる装置がない"というレベルにまで達し、検査装置の拡充も後押しし、現在は「観る」技術もコア技術に加えた「塗る、切る、磨く、観る」をコア技術としています。





Mipoxでは、自社製品の製造のみならず、受託事業も手がけております。 研磨業界において、世界シェアを誇る分野をもつニッチトップコンバーターです。

### 製品事業

一般研磨関連ハイテク関連

研磨材を開発・製造して、販売をしています。 超精密研磨から一般研磨、装置や反射材など、世界中の幅広い 用途で当社製品を提供しています。



研磨フィルム





研磨関連製品



研磨布紙製品



研磨砥石製品



研磨周辺機器



検査装置



再帰性反射材 (Ref Lite)



ヤスリ製品

### 受託事業

受託研磨加工 受託塗布・スリット

受託研磨は、主に半導体用途を中心に、ウェーハをはじめとする材料をお客様よりお預かりし、弊社が保有する設備(研磨装置、洗浄機、検査装置)と弊社独自の研磨材を用いて、お客様の要望に沿った研磨加工を提供。受託コーティング・スリットは、お客様の基材(フィルム等)や塗料材をお預かりし、弊社が保有する設備(調合、コーティング、スリット)を用いてフィルム化。



**能布製品** 



研磨加工



スリット加工



常温接合加工



杳



### IRお問い合わせ

https://www.mipox.co.jp/inquiry.html



フェアディスクロージャーの観点から、公平な情報開示体制と 株主様と投資家の皆様へのお問合せ対応の維持を考慮し、IRお 問い合わせ窓口のお電話での対応をおこなっておりません。HP のお問い合わせフォームをご利用ください。

















